



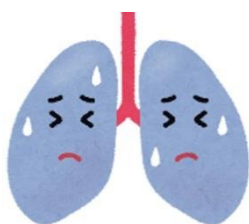
入院される患者様へ 歯科受診のお願い

手術、化学治療、放射線治療後の合併症を防ぐには、
口腔の衛生環境を整えることが大切です。



歯の表面に付着するネバネバした白いものは**歯垢(プラーク)**といます。これは食べカスではなく、細菌のかたまりです。歯垢 1mg (耳かき 1 杯分) の中に 10 億個もの細菌が生息しており、体に様々な悪影響があることがわかってきました。歯垢(プラーク)は、歯ブラシで磨いても 6 割しか除去することができないと言われています。そこで、入院前に口腔ケア (お口の中の清掃・義歯の清掃・食べたり、飲んだりする働きを健全に維持すること) を歯科医院で行い、プラークをきちんと除去することをおすすめしています。

口腔ケアの効果



●入院中の肺炎予防

お口の中をきれいにすることで、誤嚥 (誤って食物や唾液などを肺に飲み込むこと) による、肺炎が起りにくくなります。

●感染予防

口やノド、食道などの手術の場合、術後に傷口が感染を起こしにくくなります。

●お口のトラブル予防

全身麻酔で気管にチューブを挿入するとき、グラグラの歯が抜けたり、歯が折れたりしないように事前に対処できます。



●早期退院

入院前にお口の中をきれいにすることで、肺炎や感染を減らすことができるため、食事がスムーズに開始でき、手術後の回復を早めることができます。

入院に備え、かかりつけ歯科医院を受診し、むし歯や歯周病のチェックと治療を行い、お口の中を清潔にしておきましょう。また歯ブラシ等の正しい使用方法を習得し、起床時、毎食後と就寝前などの歯磨きを習慣づけましょう。

* 予約時には必ず入院予定日をお知らせください。



愛媛県歯科医師会
イメージキャラクター
はびかちゃん®